



だいかぞく  
『大家族』についての  
しりょう よ  
資料を読みましょう!

## マグリット 『大家族』<sup>だい か ぞく</sup>

- かいた年<sup>とし</sup> 1963年<sup>ねん</sup> ●大きさ<sup>おお</sup> 100cm×81cm
- 絵がある所<sup>え</sup> うつのみや美術館<sup>とこ</sup> (とちぎ県<sup>けん</sup>)
- かいた絵のぐ<sup>え</sup> あぶら絵のぐ<sup>え</sup>

マグリットの絵には、なぜだろうと思うことがたくさんあります。たとえば、『大家族』という題名も、みなさんはなぜだろうと知っていることでしょう。マグリットは「絵の題名はせつめいではないし、題名と絵のつながりは詩のようなものだ」とのべて、わざとふしぎな題名をつけています。マグリットは、そのふしぎなつながりについて、見る人にじゆうに想像してもらい、いろいろな考えをもってもらいたかったのでしょう。

そのほかに、暗いくもり空に大きな鳥の形が見えるのもふしぎですね。鳥の内がわは、はれた明るい空です。鳥の内がわと外がわのちがいから、見る人は何を想像するでしょうか。私たちの明るい気持ちと暗い気持ちを思う人もいれば、平和な世の中と戦争を思う人もいます。

みなさんは、どんな考えがうかんできましたか？